



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



一般社団法人地域連携ネットワークみえ

三重県伊勢市御薗町長屋1963

(株)エホリューション内 (☎0596-63-5080 FAX0696-65-7006)

E-mail info@3c-mie.net <https://3c-mie.net/>



4月は、和風月名で卯月(うづき)と言います。ウツギという白い花が咲く季節なので、「卯の花月」ということらしいです。「うのはな」というとおからを思い浮かべてしまいますが、花の名前からきているんですね。卯月の「う」は「初」や「産」を意味する「う」で、一年の循環の最初を意味するという説もあります。いずれにせよ、新しい年度のスタートなんですね。さて、今回は、地元に着して配信をいただいている三重テレビ放送に昨年就任されました山口社長に新たなスタートの決意を語っていただきました。

～三重テレビ放送のこれから～



三重テレビ放送代表取締役社長 山口 貢

昨年の6月に、三重テレビ放送の社長に就任いたしました「山口 貢(やまぐち・みつぐ)」と申します。この度、こうした機会を頂きましたので、変化する三重県唯一の地上波民放テレビ局・三重テレビ放送の紹介をさせていただきます。

まず、ここからは、三重テレビが生き残りをかけて注力していることを、順番に紹介させていただきます。

一番目は「地域密着」ということです。日本中のテレビ局が「地域密着」を標榜するわけですが、特に三重テレビは三重県唯一の地元民放テレビ局として「超ローカル局」を目指しております。

「Mie ライブ」を始めとしたニュース・情報番組で、三重県、各市町そして民間企業とそこに暮らす皆様の物語を取り上げるのはもちろん、昨年の7月から毎週金曜日午後10時10分から25分まで「部活応援！とこわかアスリート」という番組で、三重県内の高校の運動部を紹介しております。そして、今年7月からは、毎週月曜日から金曜日の午前6時25分から6時30分、同じく夕方5時30分から5時35分で、「エムっとくとあそぼう！」という、県内の幼稚園・保育園を三重テレビの局キャラ(エムっとくとびつとちゃん)が巡り、楽しく子供たちと体操する番組をスタートさせます。

1人でも多くの三重県の高校生、子供たちにも出演してもらいたいと考えています。

さらに、三重テレビには、伝説的な視聴者参加のカラオケ番組「カラオケ ON ステージ」

(1982年4月から99年3月まで放送)があったのですが、その伝説のカラオケ番組を今年度中に復活させ、地元県民の皆さんがこぞって参加したくなるような番組に育てたいと思います。



「部活応援！とこわかアスリート」(C)三重テレビ放送

次に、三重県の基幹産業のひとつである「観光産業」を盛り上げるために、3つの新番組をスタートいたしました。

1つ目は、昨年7月スタートの「バスケットブラザーズの行けばわかるさ！～三重街道中ひざくりげ～」という番組です。昨年の「キングオブコント」のチャンピオンとなったお笑いコンビ「バスケットブラザーズ」が桑名市・七里の渡しから伊勢神宮まで歩いて旅をしていきます。その途中で、三重県を紹介していくというもので、毎週月曜日午後8時からの30分番組で、毎週水曜日午前10時から再放送をしています。この番組は、BS よしもとでも、毎週日曜日午後8時30分から9時まで放送されており、全国で視聴することができます。



「バスケットブラザーズの行けばわかるさ！～三重街道中ひざくりげ～」(C)三重テレビ放送

2つ目は、昨年8月から、地元男性アイドルグループ「BOYS AND MEN」が、三重県にテーマパークを作るべく、三重県中を駆け巡る「ボイメン☆パーク」という番組をスタートさせました。この番組は、番組そのものをイベント化させて、三重のさまざまな場所を紹介するとともに、リアルに視聴者の皆さんと触れ合っていこうと考えています。放送は、毎週木曜日午後10時10分から10時45分、再放送は毎週月曜日午前10時からです。



「ボイメン☆パーク」(C)三重テレビ放送

3つ目は、今年の4月から、コロナの影響で放送中止になっていました「新・ええじゃないか」を「新・ええじゃないか～いい旅いい発見～」として復活させました。MCは、三重県観光大使のチャンカワイさんと池山智瑛さんのお二人。この番組は、サンテレビさん、テレビ神奈川さんといった全国の独立局9局で放送され、その視聴可能世帯数は5300万世帯となります。さらに、この「新・ええじゃないか」は、三重県内の素晴らしいスポンサーの皆さんに支えられ、本当に素晴らしいスタートを切らせて頂きました。改めて、お礼申し上げます。

このような三重県の観光産業振興のお役に立てる番組コンテンツを基盤にして、地元三重県の観光パートナーとなれるメディア企業に変化するべく、放送事業を進めて参ります。



「新・ええじゃないか～いい旅 いい発見～」(C)三重テレビ放送

三番目に、地元三重県の皆さんに、コンサートは勿論、エンタメを楽しんで頂く機会を創出していくということです。名古屋・東京・大阪のパートナー企業との協働で、「フジコヘミングのピアノコンサート」「ドラゴンクエストコンサート」「三重テレビ夏休みファミリーイベント・恐竜パーク」「吉本新喜劇」「郷ひろみコンサート」「福田こうへいコンサート」「松山千春コンサート」「コブクロコンサート」等々を共催するとともに、昨年の12月から3ヶ月間に渡って、桑名のイオン駐車場で「パピードリームサーカス」というアクロバティックサーカスの興業を開催いたしました。そして、今年4月14日より、四日市市文化会館で「田中達也のミニチュアライフ展～見立ての世界～」を1ヶ月半に渡り開催しております。(C)三重テレビ放送あの某国営放送の2017年の朝ドラ「ひよっこ」のオープニング映像でブレイクし、今や台湾をはじめ海外でも人気の展覧会です。三重県初登場の超楽しい展覧会です。一度、足をお運び下さい。

そして、**四番目**に、数年前から力を入れていることに、「配信事業の強化」というものがあります。三重県の代表校を決める「高校野球大会」の配信を筆頭に、「全国高校サッカー選手権三重大会」「企業・行政体・学校等の周年事業、各種セレモニー」といったものの配信事業を受託し、年々その業容を拡大しております。最近のトピックスとしましては、昨年、90年近い歴史のある「桑名水郷花火大会」を配信し、「三重テレビ公式YouTubeチャンネル」におきまして、これまでに14万9000視聴の数字を達成しております。ご興味、ご要望のあるお方がいらっしゃるのであれば、ぜひ、ご一報下さい。問い合わせは、三重テレビ放送技術局 059-223-3359(担当窓口、三好・小林)です。よろしくお願い申し上げます。

さらに、新ジャンルの番組コンテンツとしていくつかご紹介させていただきますと、まず地元出身の前 WBC 世界ライトフライ級チャンピオン・矢吹正道選手の世界タイトルへの再挑戦に寄り添い、復活への2試合(昨年9月10日の四日市、今年1月28日の名古屋)を生放送いたしました。

また、東京ドームで開催された「THE・MATCH(那須川天心 VS 武尊他)」、フロイドメイウェザーVS 朝倉未来の「超一RIZIN 完全版」の地上放送、今年になってからは、昨年の大晦日の大会以降、「RIZIN シリーズ」の各大会を地上波で放送しております。そして、この4月からは「FM 三重」と協働し、「FM 三重」さんの朝の生情報番組「POMie!」を月曜日から金曜日まで、午前7時 30 分からの30分のテレビ番組としてお送りしております。

「見るラジオ、聴くテレビ」ということで、おそらく日本初のコラボ番組に挑戦しております。そしてさらに、地元「観光産業」振興・支援のための新しい事業を、今年5月から6月にはスタートできると思います。発表までもう少しお待ちください。乞う、ご期待です。



「Pick up On Mie~PoMie~」(C)radio³

2019年に、テレビ広告費は、初めてインターネット広告費に1位の座を奪われました。そのわずか3年後の2022年、インターネット広告費はテレビ広告費の1.7倍の規模となり、その差は広がるばかりです。その昔、「進化論」で有名なダーウィンさんは「生き残る種は、変化に適応した種である」といったそうです。まさに、地上波テレビ局は生き残れるかどうかの正念場に居るのだと思います。そして、三重県で唯一の地上波民放テレビ局である三重テレビは、なんとしても、三重県の皆さまのためにも生き残っていかなくてはなりません。皆さんにとって、生活に欠くべからざるものであることはもちろんですが、県内の情報を、県外の東海地方、日本全国、そして全世界へ発信していくことは、三重県の生き残りにも大変重要なファクターだと思います。

これまで三重県及び三重県民は「情報発信が弱い」と言われることがありました。そして、そう言われることの責任の一端は、三重県で唯一の地上波民放テレビ局である三重テレビにもあると思います。でも、まだ間に合います。今や、テクノロジーとコンテンツの力で、その情報発信力は大いに変わっていくはずで

三重テレビでは、昨年「三重テレビアプリ」をリリース致しました。その数年前から「三重テレビ公式YouTubeチャンネル」も立ち上げております。こういった通信系のテクノロジーを使えば、その情報は全国に、そして全世界に繋がっていきます。

もともと、三重県には食べ物も含め、豊かな観光資源があります。特に、お伊勢さんという日本で唯一無二の存在があるのです。そういった三重県を世界に繋げていくために、三重テレビは大いに変化していきたいと思っております。そして、三重県の全ての皆さんの情報発信のお役に立てるメディア企業に変わって参ります。

最後になりますが、三重テレビは来年の1月から開局55周年の記念イヤーに入ります。企業として大いに変化しなくてはならない年に55周年を迎えるということをお大チャンスとして、飛躍をしていきたいと思っております。まだまだ変化を始めたばかりですが、その変化を止めることなく続けていくことが、私の使命だと決意しております。皆さんにおかれましても、三重テレビの今とこれからの注目し、期待して下さいということで、私のレポートを終わらせて頂きます。本当にありがとうございました。



トピックス

3月29日、障がい者の支援に取り組む団体のみなさんによる勉強会が伊勢市の「ふたみ農園」さんで開催されました。この春スタートを始める B 型事業者、グループホームを立ち上げていこうとするみなさんの真摯なお取り組みや苦労などについて意見交換が行われました。こうした活動を通じて地域の中の様々な課題の解決につながればと思います。



当日のスタッフのみなさん

4月16日、玉城町の有田小学校校区で「有田地域運営組織委員会」による住民大学「うだむらアカデミー」が開校されました。委員会は、小学校校長、保育所所長、保全会会長、JA 役員、消防団分団長、駐在所員など地域で活躍されているみなさんで構成されています。コロナ禍で希薄化した住民交流を復活させたい、と取り組んだもので今後の活動が期待されます。

お知らせ

来たる**6月10日(土)**に**会員交流会**を予定いたします。これまでの社団の活動紹介とともにぎゅーとら清水社長から地域密着経営のお話をいただきます。その後、会費制にて立食での懇談会を計画しています。詳細は追ってご連絡しますので万障繰り合わせてご参加ください。